

実施状況…A.実施した B.検討したが実施に至らなかった C.検討も実施もしなかった D.廃止した
 計画の達成状況…a.計画通りに達成できた b.ほぼ計画通りに達成できた c.計画には及ばなかった

NO.1

平成26年度		自己点検		長坂保育園		実施 状況 A	達成 状況 a	
評価項目								
I 福祉サービスの基本方針と組織								
1	○理念が明文化されている					A	a	
コメント	保育理念を掲げ、保育課程にも記載し、ホームページやパンフレットにも載せている。							
2	○理念や基本方針が職員に周知されている					A	a	
コメント	マニュアルに明記し、職員にも配布し、会議等で確認する機会を設けている。目につく所に掲示し、意識していく。							
3	○理念や基本方針が利用者等に周知されている					A	a	
コメント	「入園のしおり」「パンフレット」に記載し説明したり、『保育課程』を年度初めに保護者に配布している。							
4	○施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している					A	a	
コメント	会議等で施設長としての方針・考えを伝えると共に、地域の子育て支援等に積極的に取り組み、地域に社会貢献している							
5	○遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている					A	a	
コメント	研修などに参加して理解を深め、会議等で伝達している。							
II 組織の運営管理								
6	○職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている					A	a	
コメント	不都合な点は話し合い、勤務の時間や人数など、状況に応じて改善などを行っている。							
7	○職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている					A	a	
コメント	全員有資格者で、質の向上・専門性を高めるための研修に参加し、報告や伝達を行っている。							
8	○個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている					A	a	
コメント	研修計画がある。また希望もとり、研修に参加しやすい体制をとっている。							
9	○定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている					A	a	
コメント	研修参加者は復命書を提出し、ワークミーティングや会議で報告している。							
10	○実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している					A	a	
コメント	マニュアルに明記。担当者も決められ、全職員の理解のもとに受け入れ、事前の打ち合わせや指導を行っている。							
11	○実習生の育成について積極的な取り組みを行っている					A	a	
コメント	実習生の意向を入れながら実習計画を作成し、保育士としての基本姿勢や技術が学べるよう配慮している。 責任実習なども行い、その後反省会をして、園全体でアドバイスをしている。(今年度 八戸短大2名、鎌倉女子短大1名)							
12	○民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取組を行っている					A	a	
コメント	地域の「ごみゼロ運動」「あいさつ運動」「ふれあい夏祭り」に参加し貢献している。 また、地域の民生委員の方が「ふれあい広場」に参加し、一緒に伝承遊びをしたり子育て相談に答えていた。							
13	○近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼する等の配慮をしている					A	a	
コメント	年2回の総合避難訓練では、近田会計事務所職員の避難誘導の協力を得ている。 地域の方が畑の作業に協力してくれた。							
14	○中高生などの保育体験を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、 受入れの担当者も決められている					A	a	
コメント	マニュアルに明記。職員の共通理解のもとに受け入れ、担当は主任が行った。(H26、10月根城中学校生3名の受け入れ)							
評価項目						NO.2	実施 状況 A	達成 状況 a
15	○育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている					A	a	

コメント	一時預かり、子育て支援の「ふれあい広場」、園庭やねっこルーム開放を通して、相談に応じる等、育児支援を行っている		
16	○ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している	A	a
コメント	マニュアルに明記し、担当は主任が行っている。		
17	○保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、職員が共有している	A	a
コメント	連絡先等マニュアルに明記している。情報があつた場合は会議などで伝達し、共有している。地域の避難訓練に参加したり、どんと祭に参加したりした。		
18	○子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている	A	a
コメント	嘱託医があり、年2回の健診時に相談に応じてもらっている。		
19	○育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている	A	a
コメント	体制になっている。		
20	○小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	A	a
コメント	各小学校と相談会を行い、就学がスムーズにいこう配慮している。「幼保小連携会議」に参加し情報交換をした。また、江南小学校で、年長が運動会と給食の試食に参加、根城小学校では音楽会の練習を見学した。両校とも合同学習会を行い、スムーズな就学への取り組みを行っている。		
Ⅲ適切なサービスの実施			
21	○利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している	A	b
コメント	マニュアルがあり、会議でも確認を行った。みんながより意識できるよう、マニュアルを回覧するなどしていきたい。		
22	○利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している	A	a
コメント	保育参加日・クラス懇談会・給食試食会など、意見や要望を伝えられる機会を設けている。また、朝夕の送り迎え時や、連絡ノートを通して情報交換を行っている。アンケートを取り、改善に向けての話し合いや取り組みを行った。		
23	○利用者満足の向上にむけた取り組みを行っている	A	a
コメント	保育参加日・クラス懇談会・給食試食会など、意見や要望を伝えられる機会を設けている。父母の会役員会で、行事の反省を含め、保育についての意見や要望を聞く機会を設けている。		
24	○苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している	A	a
コメント	苦情解決についての資料を、入園のしおりに添付し、玄関にも掲示している。また意見箱を設置している。受付担当者は副園長・主任である。伝えてはいるが、知らない保護者もいるので繰り返し伝えていく。		
25	○利用者からの意見等に対して迅速に対応している	A	a
コメント	マニュアルに明記。意見があつた場合は園長・副園長に報告し、その都度対応している。		
26	○保育の質の向上や改善のための取り組みを職員参加により行っている	A	a
コメント	毎月、職員会議・ワークミーティング・チームごとのミーティング等で意見や提案を聞く機会を設けている。会議では一人一人がもっと意見を出し合っていきたい。		
27	○保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている	A	a
コメント	職員会議・ワークミーティングなどにおいて、月ごとの評価や行事での評価を行い、不都合な点を話し合い、必要に応じて改善し、保育に反映させている。1年間を振り返っての自己評価を行っている。		
28	○利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている	A	a
コメント	子どもの状況が児童票・カリキュラム・見守るソフトに記載され、気になる子についてはミーティングで話している。守秘義務の遵守を職員に周知し、児童票などの重要書類は園長が鍵をかけて保管している。		
評 価 項 目		NO.3	実施 状況
30	○利用者の状況に関する情報を職員間で共有している	A	a
コメント	一人一人の家庭状況、子どもの発達状況、個人目標、保育について、会議やミーティング等で話し合う機会を設けてい		

コメント	話し合った情報はミーティング録を見られるようにしている。その日の伝達事項は早番(朝礼)で伝え、遅番の職員にも伝		
31	○情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている	A	a
コメント	園だより、連絡帳、献立表、玄関の貼り紙、かわら版、写真、ホームページ等で情報提供している。		
32	○入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している	A	a
コメント	実際に施設や保育の様子を見学してもらっている。またパンフレットや写真、一日の流れ、かわら版、園だよりや献立表等を見ながら、丁寧に説明している。		
33	○一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	b
コメント	話し合いながら0~2歳児は、発達状況に配慮しながら個別計画を立てている。3歳以上児も個人目標を作成している。もっと一人一人に配慮した計画を立てていきたい。		
IV子どもの発達援助			
34	○保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	a
コメント	基本方針に基づき、アンケートの結果など、保護者の意向を考慮しながら作成した。		
35	○指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	a
コメント	毎月、ワークミーティングでチェックを行い、ミーティング等で問題点について話し合っている。		
36	○登所時や保育の子どもの健康管理は、マニュアル等があり子ども一人一人の発育・発達状況健康状態に応じて実施している	A	a
コメント	登園時に、一人一人の様子を「健康チェック表」に記入。看護師が与薬の確認をしたり、必要に応じて検温を行っている。		
37	○健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	a
コメント	用紙に結果を記載し、連絡ノートに貼り付けて保護者に伝えている。異常があった場合は、会議などで伝え共通理解のもと配慮しながら保育をしている。(脱臼、熱性けいれん等)また、看護師が「保健だより」を通して予防対策等を伝えている。		
38	○歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	a
コメント	用紙に結果を記載し、連絡ノートに貼り付け保護者に伝えると共に、「保健だより」に全体の虫歯の状況を記載している。		
39	○感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	b
コメント	マニュアルがある。随時、看護師から発症状況・病気の内容・予防・配慮事項を玄関やホームページで伝えている。全職員が周知出来る体制が必要。(回覧してのチェックなど)		
40	○食事を楽しむことができる工夫をしている	A	a
コメント	セミバイキング方式の給食で、個人差や体調、食欲に応じて量を加減したり、配膳や後片付けも自分で行ったり子どもが参加している。食育の大切さを伝え、畑での野菜作りやクッキング保育に取り組んだり、戸外で食べる機会を設けている。食育目標を掲示し、食事のマナーがより身に付くように工夫していく。		
41	○子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている	A	a
コメント	調理士が子どもと一緒に配膳をしたり食事をし、食べる量や好き嫌い等を把握して献立や調理に活かしている。手作りおやつを心がけ、旬の物や行事食を取り入れている。また、残食記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映させている。月1回給食懇談を行い職員間で情報交換を行っている。地産地消を心がけ、様々な県の郷土料理や世界の料理を取り入れるなど工夫している。毎日の給食の写真を掲示している。献立表に栄養バランスの「家庭でのポイント」を記載している。給食試食会(レシピ配布)を行い、食育の大切さを伝えたり、家庭での様子聞いて保育に活かしている。体調不良の際は、おかゆやお茶で対応している。		
評 価 項 目		NO.4	実施 状況
42	○子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	a
コメント	年に1回、クラス毎の給食試食会や送迎時等、家庭での様子や保育園での様子を話し情報交換を行っている。		

43	○アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている	A	a
コメント	保護者との連携のもとに、除去食(卵アレルギー等)に対応し除去食の献立表を配布している。検査結果を伝えてもらい共通理解で進めている。食器に印を付け、トラブルがないようにしている。		
44	○子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	b
コメント	子どもの発達や興味に応じて環境を整えている。衛生面において、消毒や掃除などもこまめに行うべきだった。また、整理整頓もきちんとしていきたい。		
45	○生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている	A	b
コメント	発達段階や個人差に応じて時間差をつける等、工夫しながら保育をしている。子どもの掲示物を多くし、楽しい雰囲気作りに努めている保育室の環境の工夫などもっと努力していく。声の大きさなど、より気を付けていく。		
46	○子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている	A	b
コメント	受容しようと努めているが、優しい気持ちで穏やかな対応と気配りを心がけ、言葉遣い等気を付けていきたい。園全体でチーム保育を行い、一人一人をより見守っていく。		
47	○基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している	A	a
コメント	体調により午睡をするなどしている。個々の状況に応じた、より優しい対応を心がける。		
48	○子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	b
コメント	コーナーの担当者が決められているが、子どもの興味に応じた内容の見直しや改善がより必要。		
49	○身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	A	b
コメント	天気の良い日は散歩に出かけ、積極的に自然と関わっている。野菜作りや自然物を取り入れた製作などを行っている。伝統行事・えんぶり鑑賞・博物館見学・公共施設の利用・「あいさつ運動」「ごみゼロ運動」等、地域と関わっている。飼育している昆虫や生き物に、興味や関心を持たせる工夫が必要。		
50	○さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	b
コメント	環境を整え配慮しているが、表現遊びが足りなかった。楽器、表現ゾーン等の工夫をしていく。		
51	○遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	b
コメント	異年齢児保育を行い、当番活動も異年齢で行っている。毎週土曜日は、年長・年中児が3歳未満児クラスにお手伝い保育に入っている。子ども同士の関わりが持てるよう配慮している。ルールが身につくような工夫が必要。		
52	○子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	b
コメント	テーマが世界だったが、文化の違いについての取り組みが深められなかった。配慮しているが、尊重する心がまだ足りない子がいる。		
53	○性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	a
コメント	性差、子どもの発想、態度、言葉、服装、遊び方、職業、育児、家事など固定的な対応をしていない。		
54	○乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	a
コメント	低月齢児用のスペースや子どもの発達に合わせた保育を行っている。離乳食は家庭と連携をとりながら進めている。また、救急法の研修に参加し「SIDS」を周知し、睡眠時のチェック表を付けている。		
55	○長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	b
コメント	異年齢の子ども同士で遊べるように配慮し、遅番の伝達ノートで前日の様子を伝えるなど保育に活用している。長時間保育の子どもへの配慮や、くつろいだりよりリラックスできる雰囲気作りを工夫していく。		
評 価 項 目		NO.5	実施 状況
56	○障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	b
コメント	身体障がい第壹種1名。ADHD(中度精神遅滞1名)、広汎性発達障がい(中度精神遅滞)1名。配慮しながら保育を進めているが、園全体で話し合いや記録など取り組む工夫が必要。		

V 子育て支援			
57	○一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている	A	b
コメント	クラス懇談会や給食試食会など情報交換の場を設けている。個別面談は行っていないが、送迎の際の対話などこころがけている。「見守るソフト」による成長発達状況(保育カルテ)を、懇談会で説明をしながら保護者に配布している。		
58	○家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	b
コメント	児童票・見守るソフト等に記載している。また、相談内容は「相談記録」に記載しているので、もっと活用していく。		
59	○子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	a
コメント	クラス懇談会、給食試食会、参加日等の機会を設けている。自由参加日は、参加しやすいように4日間設けている。		
60	○虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている	A	a
コメント	平成26年度、虐待と思われる児童無し。朝の健康観察・午睡時の着替え・おむつ交換の際に、体のチェックを行っている。		
61	○虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所などの関係機関照会 通告体制が整っている	A	a
コメント	体制になっている。		
62	○一時預かりは一人一人の子どもの心身の状態を考慮し通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	b
コメント	子育て経験のある保育士2名以上が担当し、子どもの状態に応じて通常保育の子どもと交流したり、散歩や行事に参加している。保護者とのコミュニケーションを取りながら相談にも応じている。複写式の連絡ノートを作成し、記録を保管している。保育環境の見直しと、通常保育との連携や協力体制をよりとっていく。		
VI 安全・事故防止			
63	○調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A	a
コメント	マニュアルがあり、調理場は常に清潔に保っている。クラスや外等の水回りの掃除を丁寧に行っていきたい。		
64	○食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応については、全職員にも周知されている	A	b
コメント	マニュアルがあり、会議で調理師による確認を行っているが、全職員が周知出来る体制が必要。(回覧してのチェックなど)		
65	○事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている	A	b
コメント	事故記録簿をつけ、月1回 ワークミーティングで話し合いの場を設けて事故防止に努めている。 月1回 園内外・遊具の安全点検チェックを行っている。(安全点検表) 安全点検表など全職員が周知出来る体制が必要。(回覧してのチェックなど)安全対策や意識を高める。		
66	○事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	b
コメント	月1回、避難訓練を行ない、模擬通報訓練、模擬初期消火を行っている。総合避難訓練は年2回、消防署の協力のもと行っている。緊急時の職員の連絡網がある。全職員が周知出来る体制が必要。(回覧してのチェックなど)		
67	○不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A	b
コメント	マニュアルがあり、訓練を行っている。全職員が周知出来る体制が必要。(回覧してのチェックなど)		

(改善できる点や改善方法)

0歳： ・室内の環境作りをもっと改善するべきだった。低月齢児・高月齢児に分けたコーナーを考え取り入れる。

1歳： ・定期的な環境の見直し。

・マニュアルの再確認をみんなでしていく。

- 2歳児 ・マニュアルの確認が最初はできたが、段々と出来なくなりました。
- ・掃除消毒をもっとこまめにする。
 - ・気になる子のケース会議。報告だけでなく話し合う場があっても良いのではないか。
(担任だけではなくみんなで)
 - ・未満児としての話し合いをもっと持つ。
 - ・感染症が流行ってしまったので、早めの対策をとるべきだった。
- 3・4・5歳 : ・ミーティングでのマニュアル確認が出来なかったので、個人でもしていくべきだった。
- ・衛生面など、消毒や掃除、整理整頓などをきちんとしていく。
 - ・コーナーなどの環境を定期的に見直す。
 - ・もっと優しく、穏やかな気持ちで接する。
 - ・お手伝い保育の日以外でも、未満児と交流していく。(平日)
- 一時・子育て支援: ・虫歯の多い子は、家庭の食事や歯みがきの様子を確認し、アドバイスが必要な時はアドバイスをする
治療の必要な子は、半年後くらいに治療しているかを確認する。
- ・歯科衛生士を呼んで、歯みがき指導をしたり、週に1度歯磨きの様子を確認する。
 - ・食事は音楽をかけたり、花を飾ったりと環境作りを工夫する(一時預かり)。
 - ・意識して大きな声は出さないようにする。
 - ・障害児に対するの担当をおおまかに決め、プログラムを立てて進める。
- 給食: ・アレルギー疾患の子どもに対し、代替え品がいつも同じになってしまうので、メニューのバリエーションを増やす等していきたい。
- ・来年度へ向け、保育士と合同で話し合いをし、共通理解を深めていきたい。
(給食のメニューや年齢ごとの標準量を伝える等)

平成 26 年 2 月 3・5・9日に職員参加で実施した。

平成 27年 2 月 25日

記録 : 柳本 真瞳花 (主任保育士)

